

令和5年度 田富南小学校 学校評価

＊「教育活動に関する調査」についての考察



中央市立田富南小学校

令和5年度「教育活動に関する調査」の考察

はじめに

児童、保護者、教職員を対象に、12月中旬に教育活動に関する調査を実施しました。本調査の結果を基に今年度の活動を振り返り、活動の成果や課題を確かめ、今後の活動への参考となる視点を見出していきたいと思います。

調査は、「4：そう思う」「3：ややそう思う」「2：あまりそう思わない」「1：そう思わない」という4段階の評価です。そこで、この4段階の「4」「3」「2」「1」を点数化し4点満点とし平均値を出し考察をしました。

(平均値の目安 3.2点=80点 3.4点=85点 3.6点=90点 3.8点=95点)

令和5年度 『学校活動に関する調査』 集計表

田富南小学校

		学 校 評 価 項 目	評価平均点(4点満点)		
			児童	職員	保護者
学校経営	1	児童は楽しく学校生活送っていると思いますか	3.63	3.40	3.69
	2	児童は目標を持って学校生活を送っていると思いますか	3.49	3.00	2.99
	3	学校は、家庭に適切な連絡や情報提供を行っていると思いますか	3.64	3.55	3.57
	4	学校は、安全性が確保されるように教育環境が整えられていると思いますか		3.50	3.57
	5	学校・家庭・地域の連携はできていますか	3.60	3.20	3.35
教科指導	6	職員は分かりやすい授業に努めていると思いますか		3.45	3.70
	7	職員は児童一人一人が理解しているかどうか気を配っていると思いますか	3.90	3.50	3.53
	8	児童は意欲的に授業に取り組んでいると思いますか	3.56	3.35	3.33
	9	地域の人材や環境が教育活動に生かされていると思いますか		2.95	3.25
	10	児童:(先生は、わからないところがあった時に、分かりやすく教えてくれますか) 職員:(授業評価の結果を、授業改善に生かしていますか)	3.77	3.25	3.30
	11	児童の学力は向上していると思いますか	3.41	2.85	
	12	児童は家庭で毎日学習をしていますか	3.44	3.05	3.18
	13	児童の学級では、あらゆる教科で「話す・聞く・読む・書く」力をつけるための授業が工夫され、行われていると思いますか(児童:理由や根拠を示しながら説明したりすることができですか)(★田富南小H30から独自項目)	3.22	3.10	3.43
生徒指導	14	児童は、あいさつがよくできていると思いますか	3.69	2.90	3.19
	15	職員は、相談事や悩みなどに、適切に応じてくれていると思いますか	3.30	3.60	3.50
	16	職員は、いじめなどない楽しい学級づくりに努めていると思いますか	3.85	3.55	3.60
	17	職員は、生徒指導に力を入れていると思いますか	3.86	3.35	3.50
特別活動	18	職員は、あなたのお子さんのことをよく理解していると思いますか	3.69	3.55	3.55
	19	校舎内の環境整備(清掃活動)に努力していると思いますか(児童質問そうじにまじめに取り組んでいますか)	3.65	3.35	3.57
	20	充実した児童会活動(行事)に取り組んでいると思いますか(児童質問一生懸命取り組んでいますか)	3.74	3.30	3.57
	21	運動会などの学校行事は、児童にとって楽しく充実していると思いますか	3.83	3.50	3.65
	22	高学年児童:委員会活動は充実した活動になっていると思いますか	3.63	3.30	3.41
	23	学校は、人の生き方について考えさせる等、豊かな心を育てようとしていると思いますか	3.53	3.35	
全体項目平均値			3.62	3.32	3.46
			児童	職員	保護者

令和5年度 該当項目の前年度比較一覧表

プラス +0.2以上
マイナス -0.2以下

田富南小学校

		学 校 評 価 項 目	評価平均点の差			令和5年度評価平均点			令和4年度評価平均点		
			児童	職員	保護者	児童	職員	保護者	児童	職員	保護者
学校経営	1	あなたのお子さんは楽しく学校生活を送っていると思いますか	0.0	0.0	0.1	3.63	3.40	3.69	3.59	3.43	3.61
	2	あなたのお子さんは目標を持って学校生活を送っていると思いますか	0.0	0.1	0.1	3.49	3.00	2.99	3.51	2.90	2.90
	3	学校は、家庭に適切な連絡や情報提供をしていると思いますか		0.0	0.1		3.55	3.57		3.57	3.42
	4	学校は、安全性が確保されるように教育環境を整えていると思いますか	0.0	-0.1	0.1	3.64	3.50	3.57	3.67	3.57	3.50
	5	学校・家庭・地域との連携はできていますか		0.1	0.1		3.20	3.35		3.10	3.25
教科指導	6	先生方は分かりやすい授業に努めていると思いますか	0.0	-0.1	0.1	3.60	3.45	3.70	3.61	3.57	3.61
	7	先生方は児童一人一人が理解しているかどうか気を配っていると思いますか。	0.0	0.0	0.1	3.90	3.50	3.53	3.86	3.52	3.39
	8	あなたのお子さんは意欲的に授業に取り組んでいると思いますか		-0.1	0.0		3.35	3.33		3.48	3.33
	9	地域の人材や環境が教育活動に生かされていると思いますか	0.0	-0.2	-0.1	3.56	2.95	3.25	3.54	3.14	3.31
	10	職員:授業評価の結果を、授業改善に生かしていますか	0.0	-0.2		3.77	3.25		3.79	3.43	
	11	あなたのお子さんの学力は向上していると思いますか	-0.1	-0.4	0.1	3.41	2.85	3.30	3.49	3.24	3.24
	12	あなたのお子さんは家庭で毎日学習をしていますか	-0.2	-0.2	0.0	3.44	3.05	3.18	3.59	3.24	3.13
	13	お子さんの学級では、相手に伝えたいことをわかりやすく書いたり、話したりする力をつけるための授業が工夫されていると思いますか	0.0	-0.1	0.1	3.22	3.10	3.43	3.20	3.19	3.31
	14	あなたのお子さんは、あいさつがよくできていると思いますか	0.4	0.3	0.0	3.69	2.90	3.19	3.27	2.62	3.17
生徒指導	15	先生方は、相談事や悩みなどに適切に対応していると思いますか	0.0	0.1	0.1	3.30	3.60	3.50	3.25	3.52	3.42
	16	先生方は、いじめなどない楽しい学級づくりに努めていると思いますか	0.1	-0.1	0.1	3.85	3.55	3.60	3.79	3.67	3.52
	17	先生方は、生徒指導に力を入れていると思いますか	0.1	-0.1	0.1	3.86	3.35	3.50	3.73	3.48	3.43
	18	先生方は、あなたのお子さんのことをよく理解していると思いますか	0.1	0.3	0.1	3.69	3.55	3.55	3.55	3.29	3.44
特別活動	19	学校は、校舎内外の環境整備(清掃活動等)に工夫して取り組んでいると思いますか	-0.1	0.0	0.0	3.65	3.35	3.57	3.71	3.38	3.56
	20	学校は、児童会活動(行事等)に工夫して取り組んでいると思いますか	0.0	0.0	0.1	3.74	3.30	3.57	3.75	3.33	3.42
	21	運動会などの学校行事は、あなたのお子さんにとって楽しく充実したものになっていると思いますか	0.1	0.1	0.1	3.83	3.50	3.65	3.74	3.43	3.58
	22	高学年児童・職員:委員会活動の充実に努めていますか	0.0	0.0		3.63	3.30		3.63	3.33	
	23	学校は、人の生き方について考えさせるなど、豊かな心を育てようとしていると思いますか	0.0	-0.1	0.1	3.53	3.35	3.41	3.51	3.48	3.34

1. 全体的傾向

- *全体項目の平均値は、児童が 3.62 点 保護者が 3.46 点 教職員 3.32 点と、全体的に高い評価でした。
- *昨年度との比較から見ると、全体的にポイントがやや上がっている傾向が見られました。
- *児童調査では、全ての項目で 3.2 点以上と高い評価でした。なかでも、No.7「先生は、わかりやすい学習になるように工夫してくれている」(3.90 点)、No.17「先生は、先生方(せんせい)がたは、あなたをよくしようと(生徒指導に)、力を入れていると思いますか」(3.86 点)、No.16「先生は、いじめなどない楽しい学級づくりに努めていると思う」(3.85 点)、No.10「先生は、わからないところがあつた時に、分かりやすく教えてくれる」(3.77 点)が高く、これは昨年度よりも高い結果となっています。
- *保護者調査では、全 21 項目中 18 項目で 3.2 点を超える高い評価でした。一方、3.2 点を下回った項目は、No.2「児童は目標をもって学校生活を送っていると思う」(2.99 点)、No.12「児童は家庭で毎日学習をしている」(3.18 点)、No.14「児童は、あいさつがよくできていると思う」(3.19 点)の 3 項目でした。
- *教職員調査では、全 23 項目中 17 項目で 3.2 点を超える高い評価でした。3.2 点を下回った項目は、No.2「児童は目標をもって学校生活を送っていると思う」(3.00 点)、No.9「地域の人材や環境が教育活動に生かされていると思う」(2.95 点)、No.11「児童の学力は向上していると思いますか。」(2.85 点)、No.12「児童は家庭で毎日学習していますか」(3.05 点)、No.13「あらゆる教科で、児童に「話す・聞く・読む・書く」力をつけるために授業を工夫し、行っていますか。」(3.10 点)、No.14「児童は、あいさつがよくできていると思う」(2.90 点)の 7 項目でした。また、No.11「児童の学力は向上していると思いますか。」など、前年度より 0.2 ポイント以上上がった項目も見られました。
- *3.6 点以上の項目は、児童は 21 項目中 13 項目、保護者は 21 項目中 4 項目、教職員は 23 項目中 1 項目でした。

2. 成果

- *保護者調査において、No.1「児童は楽しく学校生活を送っていると思う」、No.6「職員は分かりやすい授業に努めていると思う」は昨年度同様に高い数値が見られました。学校教育目標の重点目標「確かな学力の向上」のもと、今年度は、校内研究で「確かな学力の育成～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを目指して～」を研究主題に設定し、児童が「できた、わかった」を実感できる授業づくりに全教員で取り組んできました。児童調査においても、No.7「先生は児童一人一人が理解しているかどうか気を配っていると思う」の数値は高く、児童の実態に応じた指導を心掛けて取り組んだ成果であると考えます。
- *児童調査では、No.16「先生は、いじめなどない楽しい学級づくりに努めていると思う」は昨年度同様に高い数値が見られました。学校では、年 3 回「いじめアンケート」を実施していじめの早期発見に努め、個々に面談をして話を聞く機会を設けています。また、子どもたちの行動や変化にできるだけ早く気付けるよう Q-U アンケートの実施や学級の人間関係を道徳の授業や学級活動等の取組を通して、相手に対する思いやりの心をもち、より良い人間関係を築けるよう指導していることも結果につながっていると考えます。

3. 課題

全体的に高い評価を得ていますが、さらなる改善を図るために、調査から見えてくる課題を探っていく必要があります。そこで、①今年度、評価が低いもの、②昨年度より評価が下がったもの、③児童・保護者・教職員の評価に違いが大きいものの 3 つの観点から本校の課題を取り上げました。本校では、「目標を持って学校生活を送ること」「学校・家庭・地域の連携」「あいさつ」の 3 項目の改善に取り組んでいく必要があると考えました。

① No.2「目標を持って学校生活を送ること」

昨年度と同様に、児童評価は 3.49 点と 3.2 点は超えているものの、保護者評価は 2.99 点、教職員評価は、3.00 点と低い評価となっています。各学級では、年間を通して児童が目標を持って生活できるよう、学期ごとに個人の目標を立てたり、学級の課題について話し合っただけで学級としての目標を立てたりして前向きに学校生活を送れるよう指導・支援をしています。しかし、目標を意識して粘り強く取り組むことにはまだ課題があり、教職員の評価が低くなっています。また、保護者には、学年通信や個別懇談等を通して、児童がどのように学校生活を送っているかをお伝えしています。今後は継続的に目標達成に向け生活できるよう、児童自らがより具体的な目標設定を行えるよう支援していききたいと思います。また、児童の目標を保護者と共有して、一緒に子供たちを励ましていけるよう取組を検討していく必要があると考えます。

② No.12「家庭で毎日学習すること」

児童評価、教職員評価ともに昨年度と比べて 0.2 ポイント低い評価となりました。今年度の校内研究は、「確かな学力の育成～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを目指して～」を研究主題に児童の実態にあわせた個別最適な学びにつながるよう家庭学習の重要性についても研究会で確認されてきました。また、中央市教育委員会からも「家庭学習の手引き」が出され、取り組みが求められています。今後は、児童の興味・関心を引き出し、家庭や地域に戻ってからも学び続けられるような学習の提供を心がけていく必要があると考えます。一人一台端末を活用した学習の機会を増やしていくことも今後の課題として受け止め、検討していく必要があると考えます。

③ No.14「あいさつ」

教職員調査で 2.90 点と低い評価が見られました。昨年度の課題でもあったため、今年度は、児童会でも「あいさつ運動」に力を入れて取り組んできました。そのため、児童の挨拶の意識が高まっている様子も見られています。しかし、「自分からすすんであいさつをすること」や「地域の方へあいさつすること」などは、今年度も課題として挙げられていました。「あいさつの意義や大切さ」などを学級で考える機会をもち、家庭や地域においても気持ちのよいあいさつができるよう、今後も児童会活動を中心に取組を継続していきたいと考えます。

4. 記述編の考察

学校運営や教育活動に関してご意見をいただき、ありがとうございました。

「先生方は、子供たち一人一人に合わせた対応をしている」「子供たちや親の悩みを聞いてくれている」などのご意見をいただきました。

一方で、①「学校の周りの落ち葉や犬の糞が気になる。」、②「30 人以上いる学級は 25 人学級を取り入れてほしい」、③様々な学校行事や学校生活をコロナ禍前に近づけてほしい ④「欠席している児童（不登校も含む）への対応について（オンライン授業等）考えてほしい」、⑤「不審者の侵入防止に向け対策を講じてほしい。」などのご意見もありました。

①については、教頭をはじめ教職員で今後に対応していきたいと思います。また、犬の糞などについては、地域の方々にも呼びかけをしていきたいと思います。保護者の方々にもご協力いただけると大変ありがたいです。

②については、山梨県の施策と国の教育施策とが関わってきます。国は、令和 3 年 4 月の法改正により、令和 3 年度から 5 年かけて、学級編制の標準を小学校 2 年生から学年進行で 40 人から 35 人に計画的に引き下げることとしました。（35 人の学級編制は、令和 7 年度に小学校全学年に完成する見込み）山梨県では法律改正前から積極的に少人数教育に取り組み、R6 年度は公立小学校 3 年生までに 25 人学級を導入することとなっています。しかし、山梨県の 25 人学級編成においては、1

学年2クラス以上が条件になってきます。本校のような1学年1クラスしかない学校では、36人以上の学級でなければ2クラスにすることはできません。25人以上35人以下の学級には、加配教員を配置して対応することとなっています。2学級編成には残念ながら来年度もできませんが、3年生まで2人体制の指導・支援体制となりますので、各学年ともきめ細かな対応ができるよう努力していきたいと思います。

③今年度は、コロナが5類になりましたので、徐々に制限をなくして学校生活や学校行事をすすめてきました。今後、持続可能な活動や学校行事の在り方を考えてさらに改善しながら実施していく行事も出てくると思います。保護者の皆様の意見も参考にさせていただきながら、教育課程全体を見通すなかで、よりよい教育活動ができるよう学校行事の在り方考えていきたいと思います。

④については、現在は各学級担任が紙面で学習プリント等を用意するなどして学習支援を行っています。一人一台端末の活用については、中央市内の各学校と情報共有しながら、今後オンラインによる学習なども視野に入れて、学習支援ができるようにしていきたいと思います。また、一人一台端末を家庭において活用する際、情報モラルや機器の取り扱いについても学校と家庭とで指導していく必要があると考えます。

⑤については、不審者情報については中央市内で共有し、安全安心メールで配信を行っています。不審者侵入の防止対策としまして、児童登校後は空いている出入り口を職員玄関のみとしています。また、保護者のお迎えなどについても確実な引き渡しが行えるよう、車から降りてお迎えにきていただくことをお願いしております。学校行事などの来校の際にも保護者受付を児童玄関で行うなど対策を講じておりますが、今後も検討していきたいと思います。

おわりに

貴重なご意見をいただき誠にありがとうございました。今回の学校評価を、来年度の教育活動につなげていきたいと思います。

今後も、学校教育目標「豊かな心とたくましい体を持ち主体的に学ぶ子」の実現を目指し、児童がよりよく成長していけるよう、家庭や地域と連携しながら全力で教育活動に取り組んでまいります。

